

「高校生シンガポール英語研修」に参加しました！

国際科の江畠睦、春野月那の2名で、長崎県教育委員会主催の「高校生シンガポール英語研修」に参加してきました。これは、県内の高校生20名が、シンガポールのプリティッシュカウンシルで10日間の英語研修を行うものです。この研修で、話す英語・生の英語を体験できたのはもちろんですが、その他様々なことを学びました。まず、プリティッシュカウンシルで、日本人に足りないものを2つ見つけました。積極性と批判的思考力です。日本人だけで受けたクラスでは指名されるまでなかなか発言できなかったのに対し、外国人と一緒に受けたクラスでは意見が飛び交っており、戸惑うことも多々ありました。しかし、言語面では発音に、文化面ではコミュニケーションの仕方にそれぞれ慣れていったのを感じ、順応する力も大切だと感じました。

また、シンガポールならではの気づきもたくさんありました。現地の人々は、スーパーやショッピングモールなどで初対面の人同士でも会話している姿をよく見ました。フレンドリーさは日本とはとても違うと感じました。

私たち2人は、思っていた以上に自分たちの思いを伝えることができたと思います。しかし、日本企業で働く方々が「いくら勉強しても、やり足りない」とおっしゃっていたように、どれだけ勉強しても足りないと感じました。もっと単語を知っていたら、もっと文法が定着していたら、と何度も思いました。これからは、この経験を活かして、世界の人々と通じ合えるグローバルな人材となるための努力を続けていきたいです。(江畠睦、春野月那)



ハワイでの短期留学に参加しました！

国際科の岩永楓、普通科の志賀玄の2名で、7月19日から約2週間のハワイ短期留学に参加してきました。ハワイでは英語だけでなく、現地の文化や歴史、リーダーシップとフォロワーシップ、平和とは何か、持続可能な社会などについても学びました。特に印象に残っているのは、持続可能な社会についての講義です。これからの社会を生きていく中で必ず考えなければならない事について、とてもわかりやすく深いところまで教えて頂きました。また、パールハーバーという、第二次世界大戦時に日本がアメリカへ先制攻撃をした場所へも行きました。この攻撃が無ければ、もしかしたら長崎に原爆は投下されなかったかもしれないと考えると、とても複雑な気持ちになりました。しかし、そこでも日本では学べない当時のアメリカの状況や、今までと違った平和に対する考え方を学ぶことができ、良い経験になりました。

そして、講義だけでなく日常生活の中でも多くのことを学びました。日本人12名、アメリカ人5名、合計17名で多くの時間活動をしました。その中で生まれるチームワークや、初めて触れる価値観など、本当に多くの経験をすることができ、毎日が新たな発見の場でした。また、ホームステイもして、ハワイの人の心の温かさ、日本人には無い考え方も学ぶことができ、貴重な時間を過ごすことができました。

今回私が留学して一番良かったと思うことは、自分の価値観が広がったことです。今までは考えたことも無かったことに目を向けるようになったり、日本に帰ってから逆にカルチャーショックを受けることがあったりして、本当の意味で自分を変えることが出来たと思います。

後輩の皆さんには、心の底から留学することをお勧めします。自分の語学力を上げる為でも、私のように何かを変える為でも良いと思います。絶対にいい経験になるので、高1、高2の間にぜひ留学してみてください！(岩永楓)



